

令和6年度 愛育保育園自己評価（保育園）統計

【評価基準】 A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない

☆ 子ども一人一人の健やかな成長と情緒を育み、保護者と地域に愛される保育園を目指す。

保育理念	① 保育理念を年度初めに職員で確認している。	A・B評価が多かった ので、毎年全体の職 員会で共通理解を深 める。また、C評価1無 回答1いる。個別の面 談を行い、愛育保育園 の保育理念の理解を 深めていくようにする。
	② 職員や保護者などに見やすい場所に掲示している。	
	③ 保護者に配布物を通して、保育理念や保育方針を周知している。	

☆心身ともに健康な子 ☆情操豊かな思いやりのある子 ☆自分の思いを表現できる子 ☆触れ合いに自然との

目標	① 目標は、地域の特性を生かし、保護者の願いを反映しているか。	ほとんどA・B評価だった が、C評価、無回答もあっ たので、今後も全体研修 を定期的に設け、保育目 標を確認し共通理解を 図っていく。
	② 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	
指導計画	① 各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	①、②とも高評価。こ れからも子どもの発達 過程を見通した指導 計画の作成を検討して いく。
	② 保育所の生活における子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定している。	
保育・行事	① 一日の流れ(ディリープログラム等)は現行でよいか。	③はB評価が多くC評価も 1入る。今年度もPDCA ファイルは作成していたも の、保育者が定期的に 話し合う機会が1階2階の クラスで差が見られた。今 後も引き続きPDCAの体 制づくりをしっかりと行い、 保育の振り返りに繋げら れるよう取り組んでいき たい。
	② 行事の種類や実施計画は適切であるか。	
	③ 計画・実施・評価・改善(PDCA)の体制がとられているか。	
	④ 保護者の願いや意見を取り入れているか。	
健康管理	① 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、「園だより」「保健だより」などで情報を保護者に提供しているか。	③(感染症マニュアル について)にB評価6、 C評価が1いる。定期 的(流行る時期)に予 防マニュアルを職員 会・研修など通して再 確認する。
	② 乳幼児の安全確保のために家庭、地域社会、関係機関と連携を図っているか。	
	③ 感染症などを予防するマニュアルがあり、職員に周知し実行している。	
食事	① 子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している。	①がA・B評価共に同票の 回答。食育を意識して(畑 の野菜を見る、触れる、育 てる、収穫する、食育に関 する絵本を読む等)楽しく 食事が出来るように保育 の中で工夫していく。また 栄養士、調理師とも連携 をとり食事に関しての事 故がないように防いでいく。 日々の食事の状況をその 都度、調理師や栄養士に 伝え改善を求めていく。
	② アレルギー疾患などを持つ子に対し主治医からの指示を得て適切な対応を行っている。	
	③ アレルギー対応の食事は、間違いがないように個別のトレーに分け調理師、栄養士、保育士でチェックして確認している。	
環境	① 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ子どもが心地よく過ごせるよう配慮している。	環境整備には全職員 が意識して整えてい る。また季節の花々や 野菜を育てることで季 節感を味わえるように している。
	② 園内外の衛生面・安全面に配慮している。	
	③ 園内に子どもたちが季節感を味わえるような工夫をしている。	

保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め受容しようと努めている。	保育内容の項目も、しっかり意識して日々の保育に取り込んでいることがわかる。 子どもが主体性となる保育環境を取り組み、遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮していく。
	② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に活動できるような環境が整備されている。	
	③ 様々な表現活動が体験できるように配慮している。	
	④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	
	⑤ 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	
人権尊重	① 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	A評価が多い。地域性も意識し文化の違いなどを認めたうえで、引き続き日本語の話せない保護者に対して、携帯アプリなどの通訳を取り入れ、コミュニケーションをとれるようにしていく。
	② 日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるよう配慮している。	
	③ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	
子育て支援	① 送迎の際の対話や連絡事項への記載などの日常的な情報交換に加えて、別に機会を設けて相談に応じて個別面談を行っている。	A評価が多数。子どもの様子を送迎時やおたより帳だけでなく、個人面談を通し保護者と伝え合ったり、また、保護者の子育ての悩みを聞くなど、保護者とのコミュニケーションを密にとり、信頼関係に繋げていく保育者が多いことがわかる。
	② 家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて、関係職員に周知されている。	
	③ 保育士は日常、保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めている。	
	④ あらかじめ年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしている。	
地域との連携	① 地域の関係機関などと連携を深めるようにしている(育児相談などに際して、専門機関と相談や連携が出来ている)	支援保育を通し、北谷町の保健師や、心理士とのつながりが多く持て、子どもの発達の早期発見や支援への移行保育への連携がとれている。イベントも年長児が多く参加し地域に貢献している。
	② 地域のイベントやまつりに参加し、地域の人々と交流できる機会を設けている。	
	③ ボランティア・体験保育の人々を積極的に受け入れている。	
安全・危機管理	① 事故や災害に対応できるマニュアルがあり、全職員が手に取り、見る事ができるところにある。	月一度の避難訓練や救命の研修も受講し、日頃から防災、ヒヤリハットなど職員間で共通認識を持っている。その上で緊急時に対応出来るよう医療機関の連絡先を見えやすいところに表示する。②③にC票が入っている。全体職務会でマニュアルをしっかり把握し、安全・危機管理に努めていきたい。
	② 緊急時、慌てずに対応できるよう、医療機関の連絡先を表示している。	
	③ 事故防止、安全管理のためのチェックリストが作成されている。	
	④ 火事、地震等の事故、災害に対応できるよう計画的に訓練や研修を行う	
守秘義務	① 子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している。	職員一人ひとりが、守秘義務をしっかり守っている。
	② 保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られている。	
組織運営	① 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく保育園の運営に関わっている。	Bの評価が多数。①C評価2票②C評価2票③C評価0票④C評価3票となった。職員間がお互いの立場を理解し協力しあい、職員配置についても意見や要望などを話し合う機会をもち組織運営の体制強化に努めた。
	② 職員の配置は適材、適所である。	
	③ 園内研修の計画・運営は適切に行われている。	
	④ 職員の意見を聞いたり、話し合う機会を定期的に持っている。	